

いっぽ だより

2020年度 No. 2

はじめのいっぽ弥生

2020年5月29日

いっぽ広場には、りんごや梨の木に美しい花が咲き、事業所の看板も新しくなり気分爽快のはずですが、史上初の新型コロナウイルスにより緊急宣言が発令され空気まで重苦しい中、大正山法華寺のご住職より（会員の高谷みゆき氏の配慮により）月曜日、お弁当が届けられ、私たちのことを気にかけて下さる優しさに、子どもたち自らお礼状を書き、心と心が通い合う素敵な出会いとなりました。ありがとうございます。



空に溶け込む優しい看板



ご住職と記念撮影



みんなで真心を「いただきます」。

さて5月12日（火）大安吉日、はじめのいっぽ  の開設記念日！予定では、卒所したお友だちにお父さん、お母さん・・・みんなでお祝いしたかったけれど、緊急宣言を肅々と受け止め、利用日のお友達と職員で麦茶で乾杯しささやかな祝賀会を行いました。

“みんなにうた声届け!!”と願い、寄贈されたグランドピアノの重厚感溢れるピアノ伴奏のもと、子供たちの澄みきった歌声は新しいいっぽに響き渡り、感動の涙が流れ“サア～ここから出発だ!!”どんな困難があっても乗り越えられる勇気をもらい明るい希望でいっぱいの記念すべき一日となりました。



みんなの歌声が広がります。



祝賀会の様子。



綺麗なお花ありがとうございます。

羊の毛刈り

去年の4月に生まれ、7月よりいっばに仲間入りしたミーちゃん・メーちゃんも1歳の誕生日を迎えた現在、羊毛は約10cmくらいにのび毛刈りの時を迎えました。

事情を伝えると寄贈して下さった八千代の増田さんが来てくださり、見事な手さばきで説明をしながら子どもたちの前で毛刈りを披露してくださいました。

来年は自分たちで・・・淡い夢を抱いていましたが、無理と判断!!

子ども達も、“さすがプロの技”に圧倒され良い経験ができたんじゃないかと思っております。



毛刈りをした後、“羊からヤギになった!!”と、チラホラ耳にしていますが、月曜の朝、近所の保育園児と先生が早々見に来てくれて

保育士：「ワァ～かわいいヤギさん!!」

小1ももこ：「ヤギではありません、ひつじです!!」

そうだよね、ひつじは毛刈りしてもひつじだよね。日々、かわいがり観察しているから判ることだね・・・。

5月20日は、「わたしはひつじ」の伊藤由生子さんに、毛の洗い方を教えてもらい、魔法のように白くなる瞬間に感動。2頭分で 約5kg。

ワァ～これも私たちだけでは出来ないとおきらめ、伊藤さんに見事な美しい色に染色してもらい、出来上がり量は直径180cmの円卓に山盛りでした。

サァー、これから糸を紡ぎ 新しいいっば結に飾るタペストリーづくりに挑戦していきたい気持ちでいっばいです。いつ完成できるかな～。



幕別町途別地区

幕別町途別地区に第3の拠点、はじめのいっぼを去年の12月に購入しました。小高い場所に約800坪の土地に60坪の建物。現在地のいっぼより車で10分ほどの場所は周りが全て畑、豊かな自然の中、車の騒音もなく別世界!!

予期しなかった新型コロナウイルスで、警戒心の心が大きく育ち、人と接すれば感染する!! ような疑いの気持ちもチラホラ・・・でしたが途別に行けば解放感いっぱいの中、室内では何もないスペースで自由奔放にかくれんぼや昼食会。室外では急坂登りから始まり畑作りまで幅広く遊びが展開されております。

子どもたちの遊び場確保は、充分ですが今後どのように活用するか、検討中です。皆々様のご意見募集中です。



近くには旬の食材がいっぱい。



「遊びにきてねー」



羊たちのご飯集めもできます。



ビニールハウスも登場、今年の収穫楽しみだね



日高山脈も一望!

豊かな自然と素朴な景色、最高に贅沢な時間が流れます。



広いお家と大きな納屋・・・何でもできそうだね。

約20数年前より、3、4世代と一緒に生活し、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に散歩し四季折々の季節を感じとり、小さな畑では、きゅうり・トマトを収穫し、食卓を囲み家庭的な雰囲気の中、心と心を通い合わせる場所を作りたい・・・が、私の願いでした。

新事業所では夢をかなえようと設計し、実現予定でしたが新型コロナウイルスで立ち止まり、落ち着いてから検討してゆきたいと考えております

第2社会 2020. 5-25(月) (第3種郵便物認可) 十勝毎日新



市内に開設 福祉事業所 コロナに負けず

新型コロナウイルスの感染防止対策が続く中、帯広市内では今月、新しい福祉事業所が相次いで産声を上げた。児童デイサービスを手掛ける「はじめのいっぽ結」(東1南28)、障害者の自立をサポートする「就労継続支援B型事業所「きずな西3条」(西3南3)。外出自粛や休業要請の中、身動きが取りづらい状況が続くが、「コロナ後は他の福祉事業所と共に十勝に共生の心を育てる。」(奥野秀康)

多世代の笑顔集う場所に

〇「はじめのいっぽ結」(石橋わか子代表)は、2012年に開所した児童通所施設「はじめのいっぽ結」の隣接地に建設された。当面は「1弥生」の待機児童を受け入れるために放課後デイサービスから事業を始めるが、将来は高齢者向けのデイサービスにも参画する計画。「子どもやお年寄り、保護者、いっぽの卒園生らが集う場所にする」(石橋代表)という。保護者や地域住民、関係者を招いたお披露目を計画していたが、新型コロナウイルスの影響で開催を断念した。12日に「いっぽ」の職員と通所した子どもが参加し、ささやかに開所祝いを実施。「1結」を笑顔があふれる場所にしていくことを誓った。

先生や友達と麦茶で乾杯した武田達太君(10)「帯広は一部屋が前より広くなつてうれしい。みんなとたくさん遊びたい」と笑った。結は今後、新型コロナウイルスの収束状況を見ながら、日中一時支援や高齢者のデイサービスへと事業を段階的に広げていく。

児童だけでなく、お年寄りや保護者、卒園生らが集える場所を目指す「はじめのいっぽ結」

この度の新型コロナウイルスで、密集・密接・密閉を避け、協力して下さった幼児さん・小・中学生の皆さん本当にありがとうございました。

6月からは普通に学校に行き、幼児さんもいっぽ通所が出来、「ふつう」に生活できることが、とっても嬉しいことだと気づかせてもらいました。

ありがとう!!

今月の予定

日時	行事
6月6日(土)	羊毛つむぎ教室
6月13日(土)	嵐山登山・ピクニック
6月15日(月)	定例会議
6月27日(土)	いっぽそば食堂
定期開催未定	親子でいっぽ・リトミック・あちこち紙芝居

*新型コロナウイルスの状況により変更もあります